

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)香椎照葉5丁目計画商業賣	階数	地上12階
建設地	福岡県福岡市東区香椎照葉5丁目	構造	RC造
用途地域	法22条区域、香椎照葉5丁目地区計	平均居住人員	2,122 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	物販店・集合住宅・工場、等	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年6月 予定	評価の実施日	2017年11月7日
敷地面積	10,829 m ²	作成者	蔵原 佳代子
建築面積	5,883 m ²	確認日	2017年11月7日
延床面積	33,305 m ²	確認者	伊東 正太郎



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.5 ★★★★★★☆☆☆☆

S: ★★★★★★ A: ★★★★★★ B+: ★★★★★★ B: ★★★★★★ C: ★★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値: 100% (kg-CO₂/年・m²)

②建築物の取組み: 83%

③上記+②以外の: 83%

④上記+: 83%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.1

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 3.5

LR 環境負荷低減性

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.6

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.5

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.3

3 設計上の配慮事項		
総合 建物を道路からセットバックさせ、歩行者および周辺に圧迫感のない配置とし、道路沿い、3階コミュニティ広場および屋上を緑化し、緑豊かなまちづくりに貢献するよう計画した。	その他 0	
Q1 室内環境 居室の窓を大きくし、通風・採光の確保に努め、快適な住空間を目標とした。居室のサッシは断熱性の向上を図り、遮音等級T-1を採用した。	Q2 サービス性能 将来の更新を想定し、全室ビニール吸材を採用。階高を十分に確保し、設備機器等の更新に備える。	Q3 室外環境(敷地内) 外壁材の彩度を落したデザインとし、周囲への太陽光の反射やグレアの軽減を図る。
LR1 エネルギー 日射遮蔽製を図り、断熱性能を高めるよう、ガラス(ペアガラス)奥行を広く計画した。	LR2 資源・マテリアル 限りある資源を有効に利用する。HON消化剤を使用しない。	LR3 敷地外環境 人の目線に近い2階部分の駐車場は柔らかいイメージの木調ルバーでリズミカルに装い、周辺との調和を図ると共に、軽快さとにぎわいを演出した。ゴミ置場はゴミの散乱を防ぐよう扉付とした。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される